



学校の未来を考える会 vol.06

少子化の進行を踏まえ、浮島中学校区でも関係者が集まり学校の在り方の協議を進めています。

今号では、7月18日（木）に開催した**第5回 浮島中学校区学校の未来を考える会**の様子と今後の流れをお伝えします。なお、学校の未来を考える会は第5回で終了となりました。

教育委員会への報告を行いました



第5回会議では、第1回～第4回までの会議内容や委員の皆様から出された意見を踏まえ、教育委員会へ報告する内容について、確認を行いました。この報告書は方針決定の際に意見を尊重してもらえよう、会を代表して藤井委員長から教育委員会へ提出されました。（令和6年8月7日）



藤井委員長から金子教育次長へ報告書を提出

以下の内容が、会としての総括意見として報告されました。

学校の未来を考える会としての総括意見

- 浮島小・中学校が小規模化している現状を踏まえ、子供たちがより豊かな人間関係を構築する力を育成し、教育活動を活性化できるよう、教育環境をよりよいものに改善する必要があることを確認した。
- 施設一体型小中一貫校化については、講師を招聘してその内容を聞き理解を深めることにより、現状維持、他の中学校区の学校との統合の案よりも多くのメリットが挙げられた。
- 仮に施設一体型小中一貫学校化する場合は、市内の取組事例をもとに学年区分などについて研究し、浮島地区の子供たちにとって望ましい形を、地域とともに検討する機会の設定を求める声が挙げられた。
- 他の中学校区の学校との統合については、浮島の特色ある地域性を残したいという理由で反対意見が多かった。
- 委員の中学校長が中心となって、令和5年度に浮島中学校3年生の社会科（公民）の授業で「地域参画」をテーマに、学校の適正規模・適正配置について取り上げ、子供たちの意見が出された。別紙（資料2）にまとめた内容については、第3回会議にて参考資料として紹介した。素晴らしい意見が多かったので尊重を願う意見が出された。
- 今後、浮島地区の住民が一体となって、コミュニティ・スクールをさらに推進し、地域の魅力を発信していくことや学校と地域が協働した取組を行っていく必要性があることを確認した。
- 教育委員会での方針決定の内容について、地域の保護者、住民等に対して丁寧な説明をお願いしたい。

この報告書には、委員や傍聴者の意見をまとめたもの（資料1）と中学生が授業で出してくれた意見をまとめたもの（資料2）も添付して提出されました。右の二次元コードから内容を確認することができます。



今後のスケジュールについて

R6 年度	9月19日	地域住民説明会 ・学校の未来を考える会での協議内容の報告 ・意見交換、質疑応答 ↓
	説明会后	未就学児保護者も含む保護者の意識調査
	10月中	意識調査の取りまとめ
	11月	教育委員会定例会にて方針決定
	方針決定後	たよりの発行又は地域説明会にて方針の周知
R7 年度 以降		統合など（現状維持以外）の方針とした場合 ↓ 地区推進委員会の設置 ・議題又は部会ごとの検討開始

～浮島地区にお住まいの方は どなたでもご参加いただけます～

地域住民説明会について

学校の未来を考える会での意見や報告内容等について説明し、浮島地区の幅広い方々からご意見を伺う「地域住民説明会」を開催します。

日時：令和6年9月19日（木） 19時から

場所：浮島地区センター 1階大会議室

☆事前の申込は不要です。直接会場へお越しください。

発行

令和6年8月発行

沼津市教育委員会 教育企画課

沼津市御幸町16-1

電話：055-934-4821 FAX：055-931-8977

E-mail：kyouiku-ki@city.numazu.lg.jp

